

創業50周年、 「女性主体」人材

「世界」を視野に新領域開拓へ サービスの草分けで地域に貢献

新井 洋子 エントリーサービスプロモーション社長



プロフィール あらい・ひろこ

宮崎県延岡市出身。1951年1月20日生まれ。福岡大学人文学部卒。75年6月に夫の康夫氏とともにエントリーサービスプロモーション(株)を設立。90年から副社長を務め、営業部門を統括。2003年に社長に就任した。福岡間税会会長、福岡商工会議所情報・文化・サービス部会部会長、福岡経済同友会交流委員会副委員長など、多くの経済団体の要職も務める

入るのが当たり前とされていた時代でした。私自身、大学を卒業してからは社会に出て活躍したいという強い意欲を持っていたのですが、当時は本当に女性

の働く場所の選択肢が少なく、男性と同じような仕事は望めない現実には大きなショックを受けた覚えがあります。だからこそ、夫とともに会社

を設立した当初から、「女性が輝ける場所を増やす」ことに主眼を置き、さまざまな人材サービスを立ち上げてきました。九州で初めて「パーティーコンパ



福岡市中央区天神3丁目の本社ビル。1982年に取得して以降、40年以上同ビルを本拠地としてきた

「女性を主体とした人材派遣会社の先駆的な存在です。」
新井 会社を立ち上げた当時は、まだまだ「女性の幸せは結婚」という価値観が一般的で、女性には社会経験もそこそこ家庭に

「女性が輝ける社会」目指して駆け抜けた半世紀
コンパニオンやMCなど多様な職域を創出
今年、創業50周年を迎えられます。まず、この大きな節目を迎えた率直な感想から伺います。
新井 一言で表現するならば、「あつという間に駆け抜けた50年」でした。1975年6月に、「女性が才能を発揮し、夢を実現できる場をつくりたい」という夢を描いて当社を立ち上げましたが、それから半世紀の間、時代時代の様々なニーズに対応しながら、理念である「人を育て、人を活かす」人材ビジネスに情熱を注ぎ続けてきました。

「女性を主体とした人材派遣会社の先駆的な存在です。」
新井 会社を立ち上げた当時は、まだまだ「女性の幸せは結婚」という価値観が一般的で、女性には社会経験もそこそこ家庭に

女性を中心とした多様な人材サービスを手掛けるエントリーサービスプロモーション(株)(福岡市中央区天神、新井洋子社長)が、創業50周年の節目を迎える。パーティーコンパニオンをはじめ、「女性が輝ける社会」を目指してさまざまな職域を開拓してきたノウハウを軸に、今日では外国人人材の派遣など多様な人材ビジネスを展開する。現在は50周年の節目を契機に、「グローバル」をキーワードとした複数の新規事業の創出に力を注ぐ。「新たな事業の柱を確立するとともに、世界を相手に活躍できるグローバルな人材を育てていく」という目標を掲げて新たなスタートを切った新井社長に、この半世紀の振り返りと新たな事業展開について聞いた。

(聞き手は本誌会長 松岡泰輔)



福岡市南区平和のエントリー第2ビル

「今では社会に根付いている女性の仕事を、草分けで創出してきたのですね。」

新井 そうですね。ただ、単に女性に特化した人材サービスという特徴だけでは、ここまで存続するのは難しかったと思います。当社の最大の強みであるスタッフの質、お客さまからの評判の高さがあってこそで、これらを支える人材教育には努めて力を注いできました。

現在では当社の人材ビジネスのすそ野も広がり、そうしたイメージも薄れましたが、エントリーサービスに所属すること自体が働く女性にとってのステータスとされた頃もあり、今も多くの当社出身の女性から「あの頃の教育があったからこそ、今の自分がある」と感謝の声を掛けていただくことがあります。一心不乱に駆け抜けてきた50年には大きな意味があったのだから、改めて噛みしめているところです。

「では、この節目を機とした抱負を聞かせてください。」

新井 今後、日本は少子化と

いう大きな課題を抱える中で、次の50年に向けて、本業である人材ビジネスを一層深掘りし、さらに拡大していくことはもちろんですが、この節目を転機に、本腰を入れて新たな展開を目指していくつもりです。

キーワード

は「グローバル」です。現在、当社の国際事業部と関連法人の日本国際人材開発協同組合で留学生や技能実習生など、幅広い外国人を対象とした人材紹介や支援事業を手掛けていますが、この領域をさらに拡大し、人手不足に苦しむ業界へ外



福岡市中央区天神3丁目のエントリー第3ビル

国人人材を紹介できるよう、各方面に働きかけているところです。この準備が整えば、本格的に外国人を対象とした人材ビジネスの全国展開に舵を切るつもりです。さらに、人材ビジネスに限らず、海外の有力なクリエ

すそ野の広さと専門性で「トータルプロデュース」

コロナ禍以降、人材事業部中心に「ニーズは旺盛」

「主力事業である人材ビジネスの近況について伺います。」

新井 先ほども触れたように、当社は女性を中心とした人材サービスで存在感を発揮してきましたが、時代のニーズに対応

さが強みであり、人材派遣、業務委託、人材紹介、紹介予定派遣など、企業のニーズに応じた雇用形態に対応できるようになっています。

特にコロナ禍以降のここ2年程は、地元のホテルや飲食業界を筆頭に、多くの業界で人手不足が深刻化している中で、ニーズは非常に旺盛です。「準備、あるいは片付けだけの2時間だけでも人手がほしい」といった切実な声も多いことから、従来よりも柔軟で多様な働き方が提案できるようになり、よりきめ細やかな求人ニーズに対応できるようになっています。

「女性を中心とした専門分野の人材サービスも、依然として強みのようですね。」

新井 ええ、おかげさまで。特にホテルにおけるレセプションアテンダントのニーズに応える「パーティー部」は、当社の創業期から半世紀近くのノウハウと信頼を積み重ねてきた歴史もあり、「よりクオリティの高い接客」を求めるシティホテル等からの根強いニーズがあります。



イベント等におけるSP(セールスプロモーション)、司会・MC(左)、ドームクルー(右)など、草分けとして職域を開拓した多くの分野で、豊富な教育のノウハウを持つ



コロナ禍以降の宴会・イベント需要の復活で最近は大忙しです。また、「SP(セールスプロモーション)事業部」はOA機器の展示会が活発だった1980年代に、「女性がセールスプロモーションを担当したら人が集まるのではないか」という当社の提案からブームに火が付いた職種であり、こちらも企画、運



九州で初めて請負業務をスタートし、現在も同社の看板的人材サービスである「パーティー部」のパーティーコンパニオン

する形で人材ビジネスのすそ野もかなり広がっています。

具体的には、幅広い業種のニーズに対し、柔軟かつタイムリーな人材を派遣・紹介する「人材事業部」をベースに、「パーティー部」「SP事業部」「MC部」「ドーム事業部」など、専門性の高い人材ニーズに対応する体制を整えています。また、グループ会社の(株)サンエーサービスはホテルやレストラン、結婚式場などのサービススタッフを紹介する「有料職業紹介所」であり、同じくグループ会社のエントリース

タッフ(株)は、遊技場他色々な施設の業務委託やイベントを担っています。これら多種多様な事業領域やネットワークを駆使し、人材面の「サポート」を超えた「トータルプロデュース」を提供することが、現在の当社が目指す事業のあり方です。グループ全体の人材の登録者数は約1万8千人、グループ売上高は約30億円となっています。

「直近で最も売り上げのウエイトが高い部門は」

新井 最近では人材事業部が主力事業に成長しています。事務、営業、販売・サービス、クリエイティブ・ITなど、さまざま

営から現場の管理まで、長年の経験に基づくノウハウには自信を持っています。最近ではインフルエンサーやYouTuberのキャスティングなど、SNSを活用した情報発信等にも対応しています。

テレビ番組のリポーター等を多数輩出している「MC部」も歴史は長く、設立3年目で仕事を任せていただいたKBCをはじめ、TNC、RKB、FBS、TVQ、NHK等地元の放送局とは現在まで長く信頼関係を構築しています。テレビだけでなく、パーティーやイベント、結婚式の司会やSNSプロモーションなど、幅広い領域で当社所属のスタッフが活躍しています。みずほPayPayドーム福岡のプレミアムスイート、スーパーボックスの運営を受託している「ドーム事業部」も同様で、福岡ダイエーホークスの時代から続く長い取引の歴史があり、現在では「BOSE・ZOFUKUOKA」内の施設の業務委託やイベント等も引き受けさせていただいています。

登録スタッフの「人材の質」で盤石の評価 外国人人材のマッチング事業が急成長

— 早くから、登録スタッフの「人材の質」で評価を高めてきましたね。

新井 繰り返しになりますが、当社がお客さまの信頼を勝ち得てきたのは、ひとえに人材の質によるものだと考えています。マナーや接客・販売スキル等のテクニカルな領域だけでなく、お客さまに心を尽くすことの大切さを説く「心の教育」には特に重点を置いてきた歴史が



業界で評価が高い人材教育の様子。「心の教育」に特に重点を置いてきた

あります。このノウハウを糧に、企業の社員教育やスタッフ研修等を受託する「教育事業部」も地元企業からの根強いニーズがあります。

— 一方で、人材の確保が難しくなっている側面もあります。

新井 確かに、人材サービス業界でも「人手不足」は深刻な課題です。従来であれば、華やかな舞台で活躍したい女性のニーズに雇用の供給が追い付いていない状態だったので、人材を募集する度に定員を大きく上回る応募が殺到していましたが、現在は男性・女性の垣根がなくなり、求人のチャネルも大幅に多様化しました。従来通りの手法では人を集めるのがままならないと痛感している中で、インスタグラムなどのSNSを積極的に活用し、若者にリーチするよう努めているところです。中には400万回再生を超えて「バズった」動画もありますよ。



外国人人材との面談の様子。さまざまな言語に対応できる体制を整えている

◀ 同社が教育した外国人コンパニオンも地元ホテル等で活躍始めている

ングしています。さらに昨年には、就業希望の外国人に向けたサポートセンターとして「外国人就労支援センター」も新設し、さらにサポート体制を手厚くしました。

— どういった国から人材を受け入れているのですか。

新井 現在の提携国は、ベトナム、ミャンマー、キルギス、スリランカ、ウズベキスタン、ネパール、インドネシア、マレーシア、モンゴルです。アジアを中心に、さらに世界中にネットワークを広げべく奔走しているところ です。

新規事業創出に本腰、5年で売上高50億円目指す 外国人人材のニーズ高い業界に着目

— 今後の事業計画や展望について伺います。「グローバル」がキーワードとのことですが。

新井 まず、外国人を対象とした人材ビジネスの面では、現在の制度の枠組みでは外国人の就労ができないものの、人手不足が深刻で外国人人材の潜在的

なニーズは非常に高い業界に着目しています。

昨年には日本国際人材開発協同組合の共同代表・会長に、(株)にしけいの折田康徳代表取締役会長に就任していただきました。全国を対象に、優秀な外国人人材を派遣するビジネスを展開す

るつもりです。先ほど、当社出身の女性から感謝の言葉をよくかけられると話しましたが、今後は当社の人材教育のノウハウやネットワークを世界中に拡大し、海外からも感謝の思いが届けられるような会社を目指していきたいと思っています。

— 今も新たな雇用の創出にチャレンジしているわけですね。そのほか、グローバル関連の事業計画は。

新井 今年から、韓国ソウルの映像制作等で世界的に有名な企業SOOMBI LABとの業務提携により、XRホログラム映像やVF X映像等を駆使した広告企画、施設企画等を提案するビジネスを本格的に展開していきます。私も拝見させていただきましたが、同社のホログラムを使った演出はまさに近未来的で非常にクオリティが高く、11月に予定する当社の50周年記念パーティーにおいても、この演出を披露するつもりです。また、詳細は今後発表しますが、新たに「貿易」に関わるビジネスも立ち上げる計画もあります。



運営全般を全面受託している魚食普及推進施設「うおざ」(福岡市中央区長浜)

また、国内向けの新たな分野では、昨年から中央区長浜の魚食普及推進施設「うおざ」の調理及び運営全般を全面受託していますが、非常に集客が好調で飲食店の運営に一定の手応えを掴んでいます。引き合いがあれば、同様の飲食事業も積極的に引き受けていきたいと考えています。

— 新規事業の創出に意欲的で

すね。具体的な業績の目標などはありませんか。

新井 今後の5年間でこれら新たなビジネスを軌道に乗せ、50億円の売上を目標にしてい

卒業後の「選択肢の少なさ」が事業の原点に

子どもの頃は「内気で消極的だった」

—プロフィールを伺います。ご出身はどちらですか。

新井 宮崎県延岡市の出身です。生家はかつて、薬問屋と「後藤薬局」を営んでいたのですが、戦災で全て焼けてしまい、父は戦地から復員した後は地元の旭化成に勤めました。

—どのような子ども時代を過ごされましたか。

新井 今の私のイメージからは想像できないとよく言われますが、内気で消極的な子どもでした。外で遊ぶよりも家で本を読んだり勉強している方が好きでし



母とともに、生誕直後の新井社長

ます。この目標に向けて、今年には社内の役員等の体制も大幅に刷新する計画であり、まさに「新たなスタートライン」になる年と位置付けています。

たね。ただ、負けん気だけは昔から強くて、近所の秀才の男の子にテストの順位で絶対に負けたくない、小さな灯りで夜遅くまで勉強していた覚えがあります。

高校1年生までを延岡で過ごし、父の転勤に合わせて福岡市

に転居しました。高校は筑紫女学園高校に通うことになり、競う対象の男性がいないからか、この頃はさほど勉強に情熱を燃やしていませんでした。でも、福岡に来てからも内気な性格はあまり変わりませんでしたね。

—その後、福岡大学の人文文学部に進学されていますか。

新井 両親からは「短

大でいいじゃない」と言われていたのですが、私はどうしても4年制大学に進みたくて、無理を言って進学させてもらいました。この頃から漠然と、結婚して家庭に入るだけでなく、社会に出て独り立ちしたいという思いがあったのかもしれない。

—どのような大学生活を。

新井 この頃も、あまり遊び回るようなタイプではありませんでした。少しか軽音楽部に所属しましたが、帰りが遅くなると母に心配されたので、すぐに辞めてしまいました。男性と違ってアルバイト先もさほど



同じく創業間もない頃の新井社長。当初から対外的なセールスや交渉等を担った

豊富ではなかったもので、ほとんど学業に専念していました。

ただ、わずかながらにアルバイトの経験もあり、イベントのキャンペーンガールのような仕事をすることがあります。内気な自分にできるかと心配だったのですが、「仕事」という役割を与えられたら案外、社交的に振る舞うことができ、知らない自分を発見できた驚きがありました。また、これをきっかけに社会に出て活躍したいという思いも一層強くなり、その意味では大きなターニングポイントだったのかもしれない。

—では、4年次は就職活動に励んだのですか。

新井 いいえ、女子大生には就職という選択肢は全くない時代でした。私の友人は卒業と同時にすぐ結婚していききました。四年制大学卒業の女性社員を求める企業は皆無でした。

私は、卒論でマスコミュニケーション論をテーマとしたことから、大手広告代理店の社員さんと交流を持つ機会があり、広告

ビル建設ラッシュで「パーティー代行」の需要開拓

1975年、広告代理店を退職し夫婦で起業

—その後、どのように社会に出たのですか。

新井 卒業時点で就職先は白紙で、就職浪人のような形になってしまいました。しばらくは家で悶々と過ごしていたのですが、これではいけないと新聞の求人欄で見つけた広告代理店のアルバイトに募集し、社員ではありませんが念願の仕事につくことができました。ここで福岡営業所所長だった新井康夫との出会いがあり、23歳で結婚。1年



創業間もない頃の新井夫婦。ともに前職の広告代理店を退職して起業した

後の1975年に夫とともに当時の会社を退職し、エントリーサービスプロモーションを立ち上げました。

ちなみに、エントリーという言葉を使ったのは、「申し込み・応募」という意味から「何でもチャレンジする」という当時の決意を表したもので、姓名占いの方に相談したところ、「この社名は息の長い会社になる」と太鼓判を押してもらいました。なので、社名を変更したり略したりすることなく、今日に至っています。

—女性の社会進出を応援したいという目標があったそうです。が、具体的にはどのような事業を想定していたのですか。

新井 女性の働ける場所がなかったのです。私自身、「結婚して家庭を守り立派に子供を育てることは素晴らしいことだ

けど社会と繋がりをもっていた」という思いで、自分の信念に基づいて起業しました。そうした中で最初のビジネスの芽になったのは、現在の「パーティー部」につながるパーティーの運営代行の仕事でした。ちょうど設立の年に、山陽新幹線の博多までの乗り入れが実現し、都心部では目に見えて新たなオフィスビルの建設が加速していました。毎月のようにどこかのビルの落成式が予定されており、その落成パーティーを請け負う仕事を始めました。幸い、広告代理店時代にイベント等の企画を経験していたので、積極的



新井社長が30代の頃の家族写真。夫の康夫氏と長女・長男とともに



よかトピア 新しい世界のであいを求めて アジア太平洋博覧会—福岡'89

会期／1989年3月17日金～9月3日土(171日間) 会場／福岡市シーサイドももち
●主催 特設アジア太平洋博覧会協会●後援 政府省庁、政府関係機関、地方公共団体、経済団体、報道機関等

アジア太平洋博覧会では、19社・394人のコンパニオンを派遣するという大きな成果をあげ、同社が人材ビジネスに主軸を置く転機となった

「よかトピア」でSPコンパニオンの評判が特によかったという松下電器産業のパビリオン

も松下電器産業（現パナソニック）のチームが大変評判がよく、それがトップの目にとまり、松下電器産業本社とのソフトウェア開発に指定されるきっかけになりました。これにより、エントリーステムサポート(株)を設立し、当時45人のソフトウェア開発スタッフを擁し、多くのソフトウェアを共同開発しました。残念ながら松下電器のコンピュータ部門の撤退のあおりを受け、当社も撤退を余儀なくされました。



「よかトピア」でSPコンパニオンの評判が特によかったという松下電器産業のパビリオン

が、初代「ひまわり娘」となり、自社で購入した「ひまわり号」に乗ってKBCのラジオカー業務委託が始まりました。今や地元民放で数多く活躍する女性リポーター、女性タレントの草分けとなり、当社の知名度も大きく拡大する契機となりました。

その後、TVQ九州放送の創設期には、報道の業務委託、秘書や受付を含めた社員を約50人派遣する等、地元民放との長く続く信頼関係は、当社の今日までの成長に欠かせないファクターとなりました。



「よかトピア」の成果が注目を集め、1993年には韓国大田(テジョン)国際博覧会で協会コンパニオンの研修を担った



韓国企業とのビジネスの歴史も長く、1999年には大韓航空グランドスタッフの全面業務委託を任された



創業以来、毎年パーティーコンパニオンを連れて、香港やハワイへ社員旅行をしていた。写真は30歳の頃の社員旅行

それら落成記念パーティーの代行業を請け負うようになりました。そのうち、オフィスビルと並行して、福岡に幾つも大きなシティホテルが建設されるようになります。すると、今度はパーティー会場やレストランで働く「スタッフ」を広く募集するようになり、この頃から、当社が教育したスタッフをホテルに派遣する人材サービスが事業の中核を担うようになってきました。パーティーコンパニオンという職種は、まさに女性が活躍できるフィールドでしたからね。

「ただ、黎明期は教育のノウハウなどありませんね。新井 おっしゃる通りです。仕事を受けながら必死にホテル等に向いてノウハウを学びました。私もスタッフと一緒に西鉄グランドホテルで研修を受けたのをよく覚えています。また、当時福岡シティ銀行で秘書を勤めた経験のあるスタッフを抱える中でビジネスマナー等の基礎を一緒に身につけていきました。ゆっくり準備期間を設ける余裕などないので、とにかく走りながら必死に目の前の課題に対応する毎日でした。

新井 会社にとつての大きな転機となったのが、設立3年目にKBCからラジオカー「ひまわり号」の全面業務委託を受託したことです。当初は私にラジオリポーターの仕事の依頼があり、その時は何とかこなしたものの自分でも驚く程緊張してしまい、とても向いてないことを痛感しました。



取得して間もない頃の本社ビル。駐車している車は「ひまわり号」



会社にとって大きな転機となったKBCラジオカー「ひまわり号」。リポーターの「ひまわり娘」は全て正社員として採用した

KBCラジオカー「ひまわり号」受託が転機に
「よかトピア」では19社に394人を派遣



同じく2015年、釜山国際映画祭で来賓としてレッドカーペットを歩いた新井夫妻



APEC投資博覧会で、当時のエントリー 코리아が受注した日本パビリオンのブースがゴールドメダルを獲得した

を置かなければならなくなり、私が社長に就任する運びとなりました。

——半世紀の間、経営の舵を取ってきた中で、苦しかった時期はありますか。

新井 確かに経営的に苦しい場面には幾度も直面してきましたし、清算した事業や子会社もたくさんあります。ただ、人材ビジネスという柱がしっかり会社の屋台骨を支えていたことで凌げたと言えます。

それでも、皆様も同様だとは思いますが、やはりコロナ禍の時期は苦しかったですね。その時、社員がこの困難に負けまいと一致団結して取り組んだものがあります。何より財界の皆様にあたたいご支援のおかげで乗り越えることができたこ

と、感謝致しております。

——逆に、特に嬉しかった思い出はありますか。

新井 実は、日韓合同イベントとして釜山で開催した福岡アジアコレクションのファッションショーや、釜山フードエキスポで日本の食文化を紹介するなど、日韓文化交流事業を何度となくおこなってきました。そうした繋がりのおかげで、2015年に釜山国際映画祭に来賓として招待され、約5000人の観客の前で夫と二人でレッドカーペットを歩いたのは、本当に得難い経験でした。

一昨年には名だたる有名人の

中で選ばれ、女性活躍部門でプラチナイイジ賞を頂いたことも私の誇りとなり、長年女性の活躍の場をつくってきてよかったと心から思いました。

——現在では、全国間税会総連合会常任理事、福岡間税会会長、福岡商工会議所議員・情報・文化サービス部会会長、福岡経済同友会幹事・交流委員会副委員長、福岡中部法人会理事・第一副支部長、福岡キワニスクラブ副会長など、さまざまな経済団体の要職を務められています。

新井 おかげさまで、今まで福岡という地域の成長や地元経済界のご厚意に支えられて50



2015年、アジアの女性リーダーが集まる「Global Woman Leaders Forum in Busan」に初参加。以降、日本の女性経営者代表の一人として、同フォーラムで講演等を重ねている



ドーム内貴賓室「SUPER BOX」受付でお出迎えするスタッフ



福岡ドーム(現・みずほPayPayドーム)の仕事を受注できたことについて、「念願であり、大きな転換点だった」と振り返る



1996年、シーホークホテル&リゾート内に会員制クラブ「J-BOWER」を開店

た。

アジア太平洋博覧会の成功が評価され、韓国で初の国際博覧会を運営する大韓航空から「大田国際博覧会」のコンサルタントを依頼されました。その後、大韓航空から福岡空港のグランドホステス全面業務委託を任せられました。

また、百道浜エリアとは色々縁が深く、福岡ダイエーホークスの本拠地がドーム球場に決まって以来、現在の福岡ソフトバンクホークスとなっても、みずほPayPayドーム福岡のスーパーボックスの予約業務・調理・サービススタッフ全体を業務受託しています。さらに現在は、「BOSS E・ZOFU KUKA」の施設や催事場も業務委託され仕事の幅が広がっています。

また、シーホークホテル&リゾート

経済団体の要職歴任、「地域にご恩返しを」

夫婦で釜山映画祭のレッドカーペットに

——2003年には社長に就任していますね。

新井 夫は両親から受け継いだ「新宮霊園」の経営にも軸足を

——設立当初から、社長である夫が社内の管理や教育などを担当し、副社長の私は対外的な営業を担当する役割分担ができていました。夫とは衝突することもたくさんありましたが、個性が全く異なる二人で弱点を補えたからこそ、会社を今日まで存続させることができたのだと実感しています。

新井 その通りですね。発展著しい福岡市を拠点としていたからこそ、さまざまな仕事の種を拾うことができたのだと思います。

——まさに福岡市の発展と会社の成長が連動していますね。

新井 そうですね。発展著しい福岡市を拠点としていたからこそ、さまざまな仕事の種を拾うことができたのだと思います。

